

発行元 わたなべ正博後援会  
 連絡先 上田市下之郷 473-1  
 T/F 38-4452/38-7935  
(部内資料)  
 E-mail masahiro3660@mac.com  
 情報は「わたなべ正博」で検索



# わたなべ正博

2013年4月

## 通信

**【地域経済をささえる中小企業・中小企業にとっても地域は生命線】**  
 自治体の力を活用し、中小企業・業者・住民と自治体の協同による  
 元気な地域をつくるための政策「中小企業振興基本条例」をつくり  
 たい。昨年4月産業水道委員長に選任された時の私の所信です。

自治体が独自に地域産業政策の実施主体として地域産業の振興に主体的に取り組む必要性が高まっています。そんな中「中小企業憲章」に基づく中小企業振興基本条例「理念条例」が全国の自治体に広がっています。

**産業界の意向を把握したい**

上田市に於いては、昨年の3月議会母袋市長は、私の質問に対し答弁で「条例を制定する意義はあるものと認識いたしますが、産業界自らの強い要請も不可欠であると感じますので、今後、中小企業の皆様と意見交換するなど、産業界がどう考えているのか把握してまいります」と答えていることもあり、条例制定の条件が見えてきました。

今期の委員会の調査・研究のテーマを(仮称)「上田市中心小企業振興基本条例」制定につながる「提言」をすることを委員会として確認しました。

### 中小企業家同友会 帯広支部が「条例づくり」に動く

まず、先進地視察として選んだのが北海道帯広市の「中小企業振興基本条例」です。条例制定までの経緯、条例の特徴、条例の運用、事業者との共同、今後の課題などについて研修しました。

条例づくりのプロジェクトを立ち上げたのが中小企業家同友会帯広支部で、そのプロジェクトは、商工会議所・帯広市・中小業者や同友会との協働のテーブルとなり「ゼロからの条例づくり」へとつながったということでした。

### (仮称)「上田市中心小企業振興基本条例」制定をテーマに

以後、上田商工会議所、上田市商工会、上下水道事業者組合と懇談会を開催しました。さらに、中小企業

家同友会との懇談も行い。5月には、先進地視察として東大阪市、埼玉県川口市のそれぞれの「中小企業振興条例」を学び上田市での条例制定に結びつけていきたい。



### 【真田十勇士 モニュメント】



### 中心市街地への設置に産業水道委員会は「付帯意見」を付す

平成23年6月議会において「中心市街地に真田十勇士像を1000万円かけて設置したい」という議案に対し、真田十勇士は歴史上その実在については確実な史実がないことから。

### わたなべ正博のノート (12日現在)

- 1日 上田市商工会議所幹部との懇談
- 2日 東塩田保育園入園式
- 3日 生活相談「母子家庭・介護」
- 4日 地元小・中学校入学式
- 5日 佐久市議選支援
- 6日 高田城
- 7日 浅間池代表会
- 8日 上田駅前宣伝
- 9日 桜団地自治会長と下水道課へ議会機能強化特別委員会
- 10日 アナログ通信「絆」制作
- 11日 下之郷水土里まもり隊
- 12日 中小企業家同友会と議会産業水道委員会との懇談会
- 13日 モルティ塩田前街頭宣伝
- 14日 夜桜スペシャル
- 15日 定期検診「医療生協」
- 16日 青木村議選支援「告示」
- 17日 北陸信越ブロック一斉宣伝
- 19日 議会機能強化特別委員会
- 20日 モルティ塩田前街頭宣伝
- 21日 憲法学習会
- 22日 堰払い2箇所
- 25日 消防団第15分団総会
- 27日 上田駅前宣伝
- 29日 唐沢ちあき来田
- モルティ塩田前街頭演説
- 第31回上田真田まつり

- ①市民や観光客に誤解を与えることのない説明を明示すること。
- ②歴史文化の薫る風格ある上田市の中心市街地にふさわしいものとなるよう内容について、関係者と十分協議をしながら進めること。

といった内容の「付帯意見」を議案に付しました。

# 下之郷桜団地の 下水道接続工事 本年度から実施

4月8日桜自治会長と市住宅課、下水道課とで庁内で懇談が行われました。

(渡辺正博メモより)

## 【市住宅課の説明から】

◎24年度に実施設計を行い、平成25年度接続工事を行うこととした。

◎接続は農業集落排水とし78戸の全戸と桜自治会館を実施する。

ただし、平成25年度は50戸程度を見込み、予算が付けば残りは平成26年度で行い、2年間で完了したい。

◎今年の秋口くらいまでには発注して工事に入りたい、入札により業者が決まったところで地元説明会を開催する。

◎加入金については個人負担は一切ありませんが、家賃については、2000円程度上乗せになることと、水道料金は2倍以上になる。

## 日本の政治を見る確かな目と方法

番外

桜団地の【桜】の由縁は知らないが桜の木が無い、以前あったようだ「アメリシロ」被害で切ってしまった、いまは、目立たないところに一本あるとのことでした。この環境整備と併せて桜の植樹も考えたかどうか・・・、こんな話を自治会長と話しました



毎月2回土曜日モルティエ塩田前にて

### 小選挙区制の害悪

選挙とは、国会や議会でものごとを決める人を選ぶことだから、選挙にとって一番大切なのは民意をそのまま議会に反映させること

です。

ところが、「政治改革」によって小選挙区制が導入され、選挙によって民意を集約しようとした。

そのために、少数意見は選挙の過程で切り捨てられてしまい、議会には歪んだ民意しか出てこなくなった。

民意が反映されず、政治が国民の願いから乖離してしまう最大の原因はここにある。あらためて小選挙区制の害悪をあげれば、

◎大量の「死票」が出る

◎「二大政党化」による小政党の排除

◎理念・政策に基づかない「選挙互助会」的政党の登場

◎選挙での選択肢の減少

◎風向きによる短期間での多数政党の交代

### 未来の主権者にふさわしい政治教育の充実を

選挙とは、国会や議会でものごとを決める人を選ぶことだから、選挙にとって一番大切なのは民意をそのまま議会に反映させること



ない。」とあるが、実際には、このような政治教育は十分に行われていない。同条2項では、「法律に定める学校は、特定の政党を支持し、又はこれに反対するための政治教育その他政治的活動をしてはならない。」とあります。これをもって、生徒にはなるべく政治問題にかかわらないように隔離され、政治的な活動を禁止されています。高校まではできるだけ政治に関心を持たせないようにしながら、大学生になつた途端に、政治に関心がなると避難されるのでは、若者がかわいそうです。



総会後の宴席で「ナベさんは「日の丸」になぜ頭を下げないのか」と聞かれた。私の父親は戦争体験者で「日の丸のために命を賭けたが、日の丸は俺たちを守ってくれなかった」「日の丸に謝ってもらっていない、これが父親のおもいです。」と答えた。

